

**「第16回全国高等学校選抜アイスホッケー大会」に関する
国立感染症研究所からの最終報告について**

1 経過概要

- (1) 大会日程 令和3年8月3日(火)～8日(日)
 (2) 参加者 917名
 (3) 感染者数 150名
 (4) 主な経過

日 時	経 過 等
8月 7日 (土)	◇道外1チーム4名に発熱症状があり検査実施
8月 8日 (日)	◇道外1チーム4名が陽性 ◇当該チームの残り26名の検査を実施し25名が陽性
8月13日 (金)～	◇感染拡大を受け、全ての大会関係者等の検査を実施依頼
8月18日 (水)～	◇国立感染症研究所や北海道、苫小牧保健所、市等が大会施設などの現地確認を含めた調査
8月25日 (水)	◇国立感染症研究所から暫定報告
8月27日 (金)	◇全陽性者数150名、検査終了
9月 7日 (火)	◇白鳥王子アイスアリーナの感染対策実施
9月27日 (月)	◇国立感染症研究所から今大会における新型コロナウイルス感染症事例の概要報告公表
11月30日 (火)	◇今大会における新型コロナウイルス感染症に関する検証報告公表(苫小牧市)

2 国立感染症研究所からの概要報告 【令和3年9月27日】

(1) 感染の主な要因

- ・大会前からの新型コロナウイルス感染疑い
- ・健康記録の確認不足
- ・リンク施設内の換気不足
- ・宿泊施設等の試合会場以外での外部との接触

(2) 対策事項

- ・疑い症例発生時の対応準備
- ・参加チームからの事前の情報収集
- ・ベンチでの大声禁止と着席の徹底
- ・控室の密な状況と換気の改善
- ・会場での徹底した動線管理
- ・参加チームの健康状態の確認と主催者への報告の徹底
- ・大会2週間前からの合同練習や試合及び外部との接触の禁止
- ・感染対策を講じた宿泊施設の利用
- ・ワクチン接種推奨や大会前検査の導入検討

3 国立感染症研究所からの最終報告<提言> 【令和4年2月27日】

(1) 健康観察と健康管理

- ・各チームからの体調不良者などの報告の徹底
- ・体調不良者に対し、主催者の迅速かつ適切な対応

(2) 大会における感染管理

- ・参加者、関係者の新型コロナワクチン接種状況の把握及び接種の推奨
- ・ベンチでは距離を取り大声を出さないよう徹底
- ・レフェリーやラインズマンのマスク着用
- ・会場内で定められた動線を遵守
- ・大会2週間前から外部の選手との合同練習等の接触を制限

(3) 飛沫感染、空気感染を起こしにくい競技環境

- ・会場内のCO₂濃度を参考にした適切な換気の確保
- ・控室での適切な換気の確保と使用人数の設定

(4) 飛沫感染、空気感染を起こしにくい宿泊環境

- ・大浴場の使用中止や他者との接触が起きないような使用時間の指定
- ・食堂における換気の徹底
- ・複数チームとの同時期の宿泊の制限

(5) 症例発生時の早期対応

- ・微熱がある者が複数発生した場合、必要に応じて医療従事者や保健所に相談
- ・疑い症例発生時の運営方針の策定
- ・関係者の事前情報収集（同行者等の参加者名簿、旅程表、部屋割等）

4 今後の対応について

この度の国立感染症研究所の最終報告は、令和3年9月27日の概要報告とほぼ同じ提言となっております。

このことから、令和3年11月策定の「第16回全国高等学校選抜アイスホッケー大会における新型コロナウイルス感染症に関する検証報告（苫小牧市）」をベースとし、この度の最終報告を踏まえた上で、大会基本方針の見直しを行ってまいります。

また、今後も新型コロナウイルス感染症を見極めながら、関係機関と協議・調整を行い、必要に応じて改善を図りながら対応してまいります。